広　　報　　資　　料
令和８年11月４日
警　　察　　庁

Google社と連携した犯罪インフラのテイクダウンについて

１　広報の概要

警察庁、関東管区警察局サイバー特別捜査部及び福岡県警察は、Google社とレジデンシャルプロキシ対策のため連携してきたところ、Google社が米国において法的措置等を行い、レジデンシャルプロキシに関連するドメイン、サーバのテイクダウン等に至ったもの。

２　連携の背景

警察庁及び関東管区警察局サイバー特別捜査部は、サイバー攻撃に利用されるレジデンシャルプロキシの調査を推進していたところ、レジデンシャルプロキシの多くにGoogle社が提供するAndroidＯＳが使用されていることから、共に対策を図るべく、本年３月以降、同社と情報共有等で連携を図ってきた。

３　取組内容

○　令和７年９月、福岡県警察によるインターネットバンキング不正送金事件における不正アクセス元の捜索により、不正なアプリケーションソフトが混入されたIoT機器を発見。

○　関東管区警察局サイバー特別捜査部において、不正なアプリケーションソフトの解析を推進するとともに、対象機器の製造、販売状況等を調査し、Google社へ情報提供。